あさがお

No.6

令和3年1月14日
武蔵野市立千川小学校
特別支援教室拠点校
校長　河村　祐好
特別支援教室あさがお

新年を迎えて

関前南小学校　校長　加藤　聖記

寒くなってまいりましたが、皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。

太陽の温かさ、ありがたさを感じるのも冬です。寒い日でも、天気が良く日差しが注ぐ日は、何とも言えない温かさを感じます。普段とは違った鋭い感覚が生じる季節だと思います。小春日和とは、よく言ったもので、寒いからこそ感じることなのでは思います。

冬の厳しさの中にも、希望をもって歩いていきたいですね。

新しい年はどんな年になるでしょう。そう、きっと・・・

３学期の予定

1 月 14 日（木） 3 学期指導開始日
1 月 26 日（火）～2 月 10 日　大野田小担任連絡会
2 月 1 日（月）、2 月 5 日　千川小担任連絡会
2 月 2 日（火）～2 月 18 日（木）関前南小担任連絡会
3 月 1 日（月）～3 月 5 日（金）保護者面談（希望制）※詳しくは下記をご覧ください
3 月 19 日（金）指導終了日

保護者面談について

３月１日（月）～５日（金）の期間、希望される方のみ保護者面談を行います。ご希望の方はあさがお教室の連絡ファイル等でお子さんの担当教員にお伝えください。その上で日程を調整いたします。なお、退室を検討しているお子さんについては個別に担当教員より面談設定のご相談をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

連絡帳ファイル・連絡袋について

年度当初にお知らせしたように、連絡帳ファイル（水色）、連絡袋（青）はあさがお教室退室時に回収いたします。紛失、汚れなどお気を付けください。

お手伝いの効果

年末年始など、ご家族で一緒に過ごす時間が増えたときに、お手伝いをお願いする場面もあったのではないでしょうか。実生活の中でのお手伝いは、子どもたちにとって良い学びの場となります。お手伝いの効果を３つにまとめてご紹介します。

１．「親子のコミュニケーションの場になる」

楽しく会話をしながら食事の準備を一緒に行うと、親子の貴重なコミュニケーションの場になります。「今日の学校はどうだった？」と聞いても、「別に…」「普通…」と言ったあっさりした答えしか返ってこないことがありますが、何か作業をしながら話すとリラックスした雑談ができます。

２．「自立につながる」

お手伝いを通し、服の畳み方や掃除の仕方などが身に付くと、自分の身の回りのことができるようになります。できることが増えると自己肯定感も高まり、子どもの自立に繋がります。

３．「自分で考える力が身に付く」

お手伝いに慣れると、どうしたらうまくできるか、どうしたらきれいにできるか等を考えるようになります。初めはうまくできなくても、段々上手にできるようになります。

子どもに手伝わせるより自分でやったほうが早いことも多いです。
最初はゆっくりしかできなくて、失敗することもあるかもしれません。
しかし、子どもにとってはその失敗も含めて全部が次につながる貴重な体験となります。
食事の用意等、「ちょっと手を貸して」と気軽に頼むことから始めてみてはいかがでしょうか？

絵本の紹介

絵本の読み聞かせによって語彙力や読解力がつき、国語力がアップするという学力向上の効果があります。また、親子のコミュニケーションのきっかけにもなります。

「十二支のはじまり」という絵本を紹介します。十二支の由来を楽しみながら知ることができ、丁寧な日本語と優しい絵が魅力の十二支の絵本です。小学校低学年にお勧めです。

「十二支のはじまり」　岩崎京子 文：二俣英五郎 絵　教育画劇　出版社

むかし、あるとしのくれ、かみさまは、どうぶつたちにおふれをだしたんだと。
「しょうがつのあさ、ごてんにくるように。きたものから十二ばんまでじゅんばんに一ねんずつ、そのとしのたいしょうにする。」
さあ、どうぶつたちは、じぶんこそ一ばんのりだとおおさわぎしたと。

ねこがねずみに「あいさつにいくのはいつだっけ？」とたずねます。
ねずみはわざと一にちおくらせて、「二日だよ」とおしえます。

うしは、あるくのがおそいので、まえのばんからでかけます。
それをきくとねずみはこっそりうしのせなかにとびのります。
うしのせなかで、ねずみはうつらうつら。

続きはぜひ、親子で読んでみてください。